

ラドヤード・キプリング

25 桃色仮面

「浮気をばらすやつは 馬鹿もいいところ」
こう賢くもかの詩人は歌った
どんな出世もおちゃのこさいさい
カキみたいに口を閉じていればのはなしだが

ジェニーとおれ 婚約したんだ
仮装舞踏会の前の晩にね
だからもうキスの一つや二つかまわんだろ
君にも ほかの奴らにも

ジェニーはフードつきの^{ドミノ}仮装服で出かけるつもり 5
ド派手な桃色でいささか暑苦しい
おれはオーストリアの軍服と洒落て
エスコート

ところで舞踏会の日^の午後早く
おれたち決めてたんだ メモのやりとりで 10
四曲目のワルツが終わったらダンスはよして
暗い所でいちゃつこうって

分かるだろ ジェニーとおれ
結婚の誓いをかわしたんだから
キスの一つや二つ 当然だろ 15
したり されたり しあったり

さて三曲目が終わった 好きだネーおれという男は
はやばや外の暗がりに出たんだ
すると^{ドミノ}仮装服姿が一人やってきた
てっきり未来の嫁さんかと思ったよ 20

そうさねえ さりげなく
おれ その^{ドミノ}仮装服女に腕を回したんだ

キスを一つか二つかまして（かまわんだろそんなこと）
女もやる気満々だった

女が頭おつむをくるりとこっちにむけ言ったのは 25
おれのじゃない ほかの野郎の名前
しゃべる暇いとまもあるもんか 女は「ヒュー」と
声をつまらせてとんずら あとはポカンとおれ独り

そのうちジェニーが出てきた なんてこった
ジェニーのやつ 仮装服ドミノは脱いでいたんだよ 30
おれ 赤の他人の腰に腕を回していたんだ
でもそのことジェニーには黙っていたね

次の朝 桃色仮装服ドミノは
二着だったことが分かった
もう一着は うちの役所の偉いさん 35
ジュリアン・ヴァウス卿の奥方のもの

ジュリアン卿は老いぼれ 奥方は若くて金髪
お目目は五月晴れの空のよう
頭おつむを回して囁いたあの名前
ありゃ絶対「ジュリアン」じゃなかった 40

というわけで結構なことだろ 金がなくて
結婚できなかった時に
ジュリアン卿いきはか粋な計らいしてくれて
この秘密胸とどに留めてくれよとおれを秘書官ぼってきに抜擢さ

(榊井幹生訳)